




一般質問通告書一覧（6月27日）

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理 事 者 |
|--|--|----------------------------------|
|  <p>(30番) 和田 恵治 (なら元気 クラブ)</p> | <p>1 電力需給の状況把握について</p> <p>電力不足に備えることは大事だが、今年の夏は原発がゼロでも電力の最大需要を賄うことができると考える。「原発による電力供給ゼロ」の場合、電力不足に陥るという関西電力や政府の主張についてどのように認識しているのか。</p> <p>2 脱原発・自然エネルギー社会の実現について</p> <p>福島原発事故によって見えてきた原子力エネルギーの怖さやそれによる大災害を踏まえ、原子力発電所の危険性についての県民への啓発も含め、脱原発というものについてどのように取り組むのか。</p> <p>3 震災がれき広域処理化問題について</p> <p>(1) 東日本大震災の復旧・復興支援として、がれき処理の広域化に手を貸すことは見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 東日本大震災の被災県からの災害救助法に基づく救助の応援要請は終了しているが、人道的な見地から、避難をされる被災県の人々を暖かく迎える取り組みは引き続き行っていくべきと考えるがどうか。</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理 事 者 |
|---|---|---|
| <p>(30番) 和田 恵治 (なら元気 クラブ)</p> | <p>4 ITを活用した地域医療の連携について</p> <p>災害に強い医療システムの構築と平時における断らない医療システムの構築、医療費のムダを省くという課題を達成するには、ITを活用した地域医療の連携をいずれは実現しなければならない。その取り組みにあたって、最初は、奈良県立医科大学附属病院を中心とした中和保健医療圏からモデルづくりを始め、最後に奈良県全域を包み込むことで完成をするよう、今から着手してはどうかと考える。地域医療の連携を進めるためITを活用することについて、知事の所見を伺いたい。</p> | <p>知 事</p> |
|  <p>(5番) 猪奥 美里 (民主党)</p> | <p>1 防災計画の見直しについて</p> <p>(1) 東日本大震災や昨年九月の紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、防災計画の見直しに県として着手されているところだが、災害はいつ発生するかわからず、早急な取組が必要と考える。見直しの現況と今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(2) 東日本大震災などで行政を中心とした「公助」だけでは対応できない事例がある中、防災計画における「自助」「共助」「公助」の役割と責任の明確化と、県民に対してもそれをわかりやすく説明するものが必要と考える。「自助」「共助」の重要性についての知事の所見を伺いたい。</p> <p>(3) 「障害者・高齢者・子どもを含めた地域住民の視点」や「女性の参画」等、これまで不十分だった点についても防災計画に盛り込まれるべきと考える。そのためには、防災計画の見直しを行政内部だけで進めるのではなく、NPOやボランティア、民間等と連携する仕組みを設けるべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 地域・学校での防災教育の充実と災害情報の発信・共有について</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>【 要 望 】</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|---|--|------------------------------|
| <p>(5 番) 猪奥 美里 (民主党)</p> | <p>2 北和の休日夜間応急診療所の体制整備について</p> <p>奈良市の休日夜間応急診療所の施設整備が本格化しているが、北和地域の拠点として円滑な運営を行うには、医師の確保などソフト面での対応も不可欠と考える。そのためには、設置者である奈良市だけが主体となるのではなく、地域医療再生計画を作成した県もより主体的に関与し、関係市等との調整を進めていくべきと考えるがどうか。</p> <p>3 競り下げ方式の入札制度の導入について</p> | <p>医療政策部長</p> <p>【 要 望 】</p> |
|  <p>(2 3 番) 安井 宏一 (自由民主党)</p> | <p>1 大和川流域総合治水対策について</p> <p>大和平野地域で1万2千戸もの浸水被害が発生した昭和57年の災害から今年で30年となるが、今もなお大和平野の各地域では大雨による浸水被害が発生している現状である。県土の安全安心なくして地域の持続的な発展はないという認識に立ち、大和川の総合治水対策を今後どのように進めていくのか。</p> <p>2 「食」の魅力向上による県産農産物の振興について</p> <p>今まさに「食」に関する注目が高まっており、県内の優れた農産物やそれらを使った加工品をうまくPRし、需要拡大につなげていくことが大切と考える。奈良フードフェスティバルを始めとする「食」の魅力向上を通じた県産農産物の需要拡大に向け、今後どのように取り組んでいくのか。</p> | <p>知 事</p> <p>農 林 部 長</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理 事 者 |
|------------------------------------|--|--|
| <p>(23番) 安井 宏一 (自由民主党)</p> | <p>3 若者の雇用対策について</p> <p>若者が夢や希望を持って働くことができるよう、若者の就労に対する積極的な支援が求められており、県の果たすべき役割は非常に大きいと考える。新卒者を含めた若者の雇用対策について、今後どのように施策を展開していくのか。</p> <p>4 子どもたちに夢や希望を与えるスポーツの振興について</p> <p>トップアスリートは、多くの人々に感動や勇気を与える存在であり、特に子どもたちにとっては大きな憧れである。スポーツを振興していくうえでは、子どもたちに夢や希望を与えることが大切なことと考えるが、どのように取り組もうと考えているのか。</p> <p>5 子どもの体力向上について</p> <p>教育委員会では、子どもの体力向上に向け、様々な取組を行っているが、奈良県の未来を担う小・中学生の体力の現状はどうか。また、体力向上に向けて、今後どのような取組を行っていくのか。</p> <p>6 県道枚方大和郡山線宮方バイパスについて</p> | <p>産業・雇用 振興部長</p> <p>くらし創造 部 長</p> <p>教 育 長</p> <p>【 要 望 】</p> |